

矢野大和新聞

笑い と 寿司 の ツアー 開催



奥州市での口演

皆さん、すごいツアーが実現しそうです。私は「おおいた観光特使」という辞令を頂いている事は前にも書きました。大した仕事をしているとは思っていませんが、もしこれが実現出来たら少しはお役に立っていると自負出来ると思います。それは来年1月19日、20日のイベントで、「佐伯市へ来ませんか？笑い と 寿司 と 市場 を 目指して！」というツアーの募集です。県南落語組合の寄席を楽しんで頂き、佐伯で寿司を食べてもらい一泊します。そして次の日に豊後水道の漁場で有名な米水津の「ござんせ市」を見学し、買い物をして頂くと言っコースです。基本的には佐伯集合現地解散です。「笑い」が観光資源になるかどうかかわかりませんが、佐伯市観光協会と打合せをしながら話を進めている所です。もしこのツアーが佐伯市の為、地元の為になつていけるとすれば、恒例化して行きたいと思つています。県南落語組合という団体が観光資源となるか試される会であるだけに、是非とも頑張りたいと思います。今の所申し込みは私の事務所まで受け付けます。どうぞ皆さんも私の生まれ育った町、佐伯市に来て新鮮な魚を食べて買って素人の笑い唄で楽しい一日を過ごしてみませんか？

友人の会3300人の会
現在360名突破



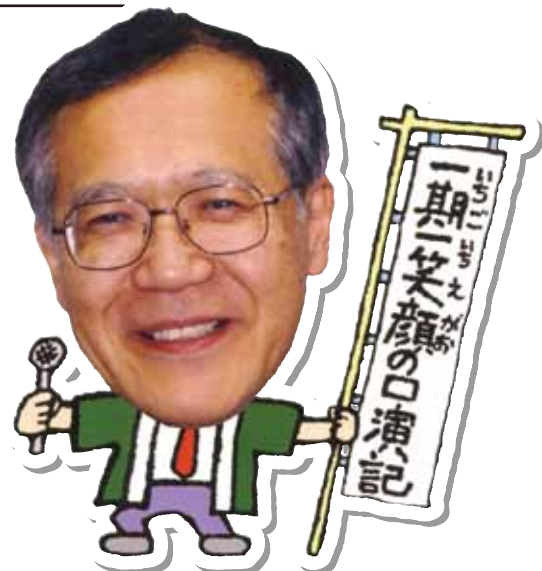
全国版CD第2弾が
1500枚突破

第 4 号
平成24年11月1日
発行：矢野大和事務所
発行責任者：矢野大和



全国版CD第2弾

8月22日に発売させて頂いた全国版CD「家族が一番口演記」が、有り難い事に3カ月で1000枚の売上を超える事ができました。これもひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。まず収録の日には既に100枚を超える予約がありました。大変ありがたい事です。それから大和の友達3300人の方々から次々と申し込みがあり、口演終了後も多くの方々を買って頂き、既に第一刷りが完売の予定です。第二刷りを急がなければなりません。今回は家族の唄を主な内容にしました。私の事を一心に思ったばかりに振込詐欺にあいそうになった母との会話、関東の大学に進学した娘の真意、など家族の事を収録しました。第一弾よりはるかに面白いと思つています。実はCDは自己出版の2枚「ヒーマンの行方」(1万枚)と「たか君の通学路」(7500枚)が既に完売しております。これもひとえに皆様のお陰と感謝しております。全国版第三弾も来年には出したいです。今後ともどうぞご最良願いたします。



サンフラワー秘話



フェリー船内



フェリー船内

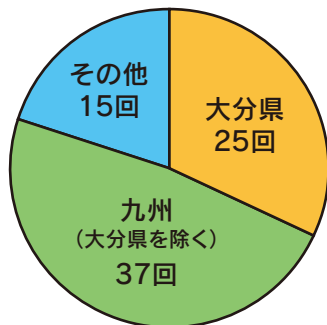
7月号で予告していたダイヤモンドフェリーの弾丸ツアーに、8月31日〜9月2日にかけて行って参りました。テレビコマースシャルでもやっている大人気のツアーです。私の場合は単なるツアーではなく、イベント会社の企画で船の中で一席やるのです。これは県南落語組合の事務局長の三浦氏が私に持つてきてくれた話で、彼自身何度か経験されているという事でした。一応私も知っておきたいと思って参加しました。行きは大分港を夜出発し、朝神戸港着。帰りは大阪南港を夜出発し朝別府港に到着するコースです。二晩に渡り違う船でそれぞれ一席づつ落語をするというイベントです。高座作りも人集めも自分でやり、20〜40名のお客さんの前で落語をやるのですが、学生時代落研で同じようにしたことを思い出しました。それはそれで楽しい出来事でした。行きは20名、帰りは40名のお客さん、中には「矢野大和」と知って聞いてた方も居て恐縮でした。県南落語組合メンバーで武者修行をするのにとても勉強になります。是非受けてみたいと思います。車1台、人4人まで無料になるそうですのでそれだけでも得した気分です。食事も無料でバイキング形式のものがつきました。私は大阪での自由時間の間、久しぶりに吉本新喜劇を観にいき、充実した時間を過ごすことができました。しかしよくこんな企画を思いつくものですね。

久しぶりの東北

6日	口演 15:15~16:30				島原九州ホテル	
7日	長崎大村空港発 10:40	羽田空港着 12:05	打ち合わせ 14:00	打ち合わせ 夕方	池袋	
8日	池袋発 9:59	十日町着 12:12	口演 15:00~16:30	十日町発 17:32	鶴岡	
9日	長崎大村空港発 10:40	口演 13:30~15:00	懇親会 16:30~20:00		鶴岡	
10日	鶴岡(バス) 10:00	仙台経由 東京 羽田 15:37	羽田空港 18:40	福岡空港 20:00	福岡空港発 20:45	鳥栖サンホテル 合流
11日	車	口演 伊万里 10:00~11:30	車	口演 佐伯上浦 19:30~21:00	大分	
12日	口演 宇布市 9:30~11:00	車	口演 日神市 13:20~14:10	口演 山崎小野田市 19:00~20:30	大分	
13日	口演 諫早 10:00~11:15	車	口演 久留米 15:00~16:30	懇親会 18:00~	博多	

7、8、9月で思い出の口演の場所はやはり東北の3日間だと思います。ただその東北地方へ行くまでの前後のスケジュールが大変で、多忙を極めました。日程は表のようになっていて色のついた部分が口演です。今回の東北は新潟(東北ではありませんが)、山形への旅でした。新潟県のJA十日町市、山形県の庄内教育事務所とお寿司屋さん。新潟や山形の人に大分弁が通じるのか少し不安でしたが、これがバカ受け。主催者の方ももちろん、お客さまとも仲良くなり、又呼んで頂けるとの事。とても楽しいやりがいのあるツアーでした。特に山形県庄内のお寿司屋さんで

口演年間回数



口演数 平成24年7月から9月

ある川上さんは、以前宮崎県で行われた全国寿司サミットの中で私の口演を聞き、CDを買ってくれた方です。また御縁を頂き感謝、感謝です。

今年1月から6月まで202回口演しているようです。今回7、8、9月で77回の口演がありましたから、計279回の口演回数です。今年は400回を超えないような気がしてきました。今まで年間400ということではプロフィールを作ってきましたから来年からそれを変えなければならぬかもしれないですね。10月〜12月までは計100回を超えていますから、年間では370回は超えそうです。ですから大きなシヨックはありませんが少し残念です。断方教室の講話が年間20回ありますからこれを加えればかなりなものになりそうです。これもマンネリ化したネタといつものだらしなない恰好で行く印象を与えるから(口演回数に結びつかない)だというスタッフの声が聞こえてきそうです。

大和初めて白馬に乗る



大和初めて白馬に乗る

私がお宮の宮司をしている事は以前にも書いた通りですが、大分県旧小野市村（現佐伯市宇目小野市）で9月15、16日に椿原祭典と旧重岡村（同重岡）で9月22、23日に八匹原祭典というとても大きな御祭があります。その八匹原祭典の行事で「御神輿」の後ろを宮司初め総代さん達がついて行くのですが、以前は歩いてついて行っていました。しかし今回有志の方々がなんと白馬を用意してくれたのです。生まれて初めて白馬に乗ったのですが（馬に乗ったのは私だけです）、馬の方が人を乗せるのに慣れているらしくとてもおとなしくて、乗りやすかったです。皆さんどうですか？少しは立派に見えるでしょうか？

嘶方教室

大変ありがたいことに嘶方教室生も第3期受講生が卒業しました。第4期生も11月から来年3月までの10回がスタートします。今回も8名です。何と募集3日目で定員になってしまいました。（もともとは定員は6名ですが・・・）

その中には前回入れず、キャンセル待ちをしていた方もいらつしやいました。どんな方が受講生で来て頂けるのか楽しみです。とにかく仲良く恥をかいても大丈夫な人間関係でやって欲しいと思います。また卒業した3期生も卒業生の会、「笑わせたいわ笑学校」に入っていただき笑学生が28名になりました。有り難い会になっています。1期から3期までの受講生の有志が発表する、第2回発表会が9月2日NHKのスタジオ

キャンパスホールで200名のお客様を迎えて盛大に開催され、とても盛り上がりしました。4名の発表者の方々お疲れ様でした。第3回発表会は12月2日14時〜15時大分市川添公民館にて行います。



話し方教室三期生卒業式

会の終了後会員全員による大忘年会を計画していますので、こちらの方も盛り上がり期待されます。

嘶方教室では一体何をやっているのかとよく聞かれます。それは、笑いの作り方や、笑いの構造を皆で考える教室なのですが、10回では中々そこまではいきません。「嘶は人柄である」という事「仲間を作ろう」ぐらいて終わっているのが現実です。

1.「芋屋の娘、年取ったね」「ふけたよ」「お坊さんが新聞読んでる」「今朝（袈裟）きて今日（経）読んでる」これが**地口落ち**

2.「おい、そんなところで何やってんだ」「静かにしてくれ。今兄貴に手紙を書いている。」「手紙ってお前、字がかけないだろ？」「いいんだよ兄貴だつて字が読めないんだから」これが**間抜け落ち**

3. おばあさんが池の中に百円を投げている。「おばあさん、お賽銭ですか？」「いいえこの看板を見たのよ」看板には「鯉のえさ 百円」と書いていた。これが**考え落ち**

4. 長い道中をする飛脚さん。どうしても近道をしたくなる。田んぼのあぜ道を近道していたらお腹が痛くなった。傍らに野雲隠（トイレ）があったのでこれにまたぐと帯が緩くて懐のお弁当の握り飯がチャポン「ああ、こいつ近道をしたな」これが**しこみ落ち**

いろいろな落ちを説明しながら嘶方を皆さんと楽しんでいきます。私が教えると言つより、私の方が勉強させて貰っているのです。

ブログに書けないことだけの話

いよいよ今年も残すところあと3ヶ月となりました。11月もとても忙しうなので、すぐ師走となり、そうこうするともうお正月となるでしょう。「どうして人間は年をとると一年が早く過ぎるように感じるのだろうか。」という話になりました。中々結論ができません。年々物忘れが激しくなったので時が経つのを忘れるのではないのでしょうか。そういえば昨日の事も忘れていきます。最終的に残った説が「分母に年齢、分子に365」年を取ればそれだけ一年間に慣れてくるので、この公式にするとうと10歳の時に37日に感じられた一年が50歳になれば一週間程に感じてしまうと言う事。なるほどと思いました。私が5年前の参議院選挙に落ちて、来年その参議院議員選挙があります。息子が来年で大学を卒業しますが、落選から6年たつその間に卒の大学生活がすっぱり入ります。「また選挙に出ないのですか？」の質問が多くて、皆さんの期待を感じ、自分との葛藤の最中で大変でした。来年が過ぎればその質問も無くなるでしょう。息子の大学生活の援助と新しい環境での仕事を振り返ると、この6年間は本当に長かったと感じています。と言つとこの説も壊れてしまいます。どなたか「なんで年を取るに従って一年が過ぎるのが早く感じられるのか」を教えてくださいませんか？因みに私達の息子は来年4月から大分市に帰ってくるようになります。本当に神職の免許も取ってくれます。本当に心から感謝です。

お宮の話 (その四) 〜お札編〜



今回は、鷹鳥屋神社の「お札」のお話です。皆さんは鷹鳥屋神社の「お札」を手にされた事があるでしょうか？それはとても心のこもった温かみのある素敵なお札です。神事の際に必要なお札。氏子さんからの依頼により準備するお札。などなど用途は様々・ですが：お札のお話するには、まず「矢野節子さん」をご紹介しなければなりません。730年の歴史を持つ鷹鳥屋神社の現在の宮司は、第37代矢野大和氏。ですがこの方、皆様もご存じの通り。口演、口演の毎日では、なかなか神社にじっとしてはいられない。

そこで、矢野大和氏不在の神社を陰になり、日なたになり守っているのが実はこの方。第36代宮司の奥様であり、矢野大和氏の母上である矢野節子さん。御歳78歳。36代が早くに亡くなられたので、かれこれ30年以上神社を守る日々。毎日ご祈禱所の神様へお茶とごはんを差し上げ。日々のご祈禱も欠かしません。神社の雑務は節子さんが全て請け負っている。と言っても過言ではありません。そんな忙しい日々の中。お札を作るのも節子さんの役割。



白衣・袴に身を包み、ご祈禱所にある銀杏の分厚い板の前に座り、精神を統一。「お札に守って頂かないといけないうから、私の雑念がお札に入らないようにしないといけないんやわあ」微笑みながらも眼差しはしんけんそのもの。一つ一つ奉書をお札のサイズに切り、墨を磨り準備が出来たら、ずいぶん年季の入ったお道具達が登場。お札の文言が書かれた版木。節子さんが生まれたての卵を両手で支えるように差し出したのは小さなハンコ達。などなど：ちなみに、この版木は「筆の達人」として有名だった35代宮司の渾身の作。35代が筆をとり、版木に写し、それを夜な夜な彫刻刀で彫り進めて作ったもの。「ねえ！きれいな字でしょう！35代の字は本当にきれいだっただよ！」節子さんの自慢の一つだ。そし

て、大事なハンコ達はいずれも100年以上前から鷹鳥屋神社に受け継がれているもの。さすがの節子さんにも詳細までは分からない代物。そこにただ一つ鷹鳥屋神社のお札を手にした事がある方でも、ご覧になった事のないハンコがあるハンコ達の中でも一番小さなそのハンコはお札の中に入っている「御神体」となる奉書にのみ押印されるハンコ。「私がお嫁に来た時に」とにかくこれが一番大切なハンコ」と教えられたのよ」と両手の中にある小さなハンコを愛おしそうに見つめる。惚れ惚れする字の書かれた版木に墨を塗り、奉書に写し取り、御神体を包み水引を結び御祈禱を終えてお札は完成する。鷹鳥屋神社のお札を手にされた事がある方も、これから手にするとう方も、是非、この歴史と節子さんの想いを記憶の隅に留めておいて頂けるとまた、ちよつと違う「お札」に見えるかも。

取材・文 神田明美

